

災害に対する備えはできていますか？ 避難所や非常持出品を確認しよう

皆さんのご家庭では、災害に対して何か備えをしていますか。「準備をしなくては何だ…」と思いつつも、いつい先延ばしになっていませんか。災害に備えて次の3つのポイントを確認しましょう。

●家族全員で、避難所を確認しよう

家族全員で、避難所を確認しておきましょう。避難するときには、安全な避難経路を通ることも大切です。

また、土砂崩れが起きやすいなどの危険な場所も合わせて確認し、安全に避難できる道順も決めておきましょう。

●台風の際には事前確認をしよう

台風の際にはむやみに外出すると危険なため、事前に家の補強をし

ておきましょう。雨戸はきちんと閉まるか、瓦が外れていないかなど、もう一度確認しておきましょう。

●非常持出品を準備しよう

災害発生後は、道路やライフラインが寸断され、物資や情報の流通が途絶え、地域が孤立してしまう恐れがあります。各家庭で、最低限必要な水や食料など非常持出品を備えておくことが重要です。

また、県内の気象注意報・警報、河川水位情報、避難勧告などをパソコンや携帯電話にお知らせするメールやテレビのデータ放送で、気象情報や土砂災害危険度情報を確認することもできます。

日ごろからいざというときに備えて、準備をしておきましょう。

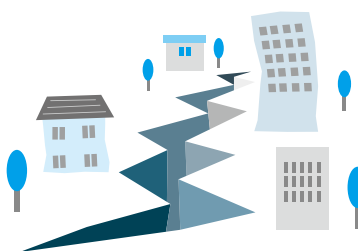
●避難が必要なシチュエーション



大雨・台風



土砂崩れ

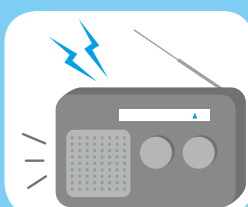


地震

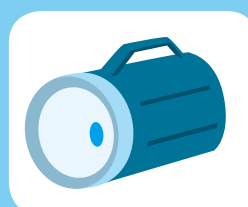
非常持出品（避難時に持ち出したい物品）～日ごろから準備と点検を～



現金、預金通帳、
印かんなど



携帯ラジオ、携
帯電話、防災行
政無線受信機な
ど



できれば1人1台、
予備の電池と電球
も忘れずに



下着、靴下、上着、
タオル、紙おむつ
など



ばんそうこう、
傷薬、包帯、常
備薬など



ペットボトルの水
(1人1日3ℓ・3
日分)、カンパンや
缶詰など

災害情報を知るための手段 ～正確な情報を取得して確認しよう～

●熊本県防災情報メールサービス

県が配信する防災情報サービスです。気象注意報・警報、河川水位情報、避難勧告などをメールでお知らせします。entry@anshin.pref.kumamoto.jp に空メールを送信して、事前登録してください。

●デジタルテレビ

地上デジタル放送でのデジタルテレビで、データ放送でリモコンの【d】ボタンを押すと、テレビ画面で災害情報を確認することができます。気象情報、土砂災害危険度情報、河川水位情報を入手できます。

●災害用伝言板（web171）

インターネットを利用して、大規模な災害が発生したときに、安否などの情報をテキストで登録・確認できる伝言板です。
http://www.web171.jp にアクセスしてご利用ください。